

戦後70年、後世に
残しておくべき証言



「私の話を遺言として聞いて、
心にとどめてほしい
そして、代弁者として
伝えてほしい
同じ苦しみを味わう人が
出ないように」

1945年8月9日午前11時2分、長崎が灰になった

郵便配達中に背中一面を焼かれた16歳の少年

死ぬまで消えない傷と痛みに耐え

核兵器廃絶と被爆者援護を求めてきた

谷口稜暉さん(長崎原爆被災者協議会会長)が語る闘いの歴史



日本被団協代表委員 谷口稜暉 聞き書き

原爆を背負って

西日本新聞の
連載を
単行本化

久知邦著 頒価 1620円(送料別)

西日本新聞社 出版部発行

取扱い店(番線)		ISBN: 978-4-8167-0888-6 C0036		注文数
原水爆禁止日本協議会 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階 電話 03-5842-6031 FAX 03-5842-6033		谷口稜暉 聞き書き 原爆を背負って		冊
		四六判、並製、256ページ	頒価: 1620円	
ふりがな	〒	TEL	()	
お名前	ご住所			

◎個人での購入をご希望の方は、本枠内にご記入の上、FAXでお申し込みください。
※郵送希望の場合は別途送料が必要です(ただし10冊以上は無料です)。詳しくは日本原水協までお問い合わせください。